

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公表番号】特表2013-500344(P2013-500344A)

【公表日】平成25年1月7日(2013.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-001

【出願番号】特願2012-522957(P2012-522957)

【国際特許分類】

A 01 N	37/18	(2006.01)
A 01 N	59/00	(2006.01)
A 01 N	25/10	(2006.01)
A 01 N	33/12	(2006.01)
A 01 P	3/00	(2006.01)

【F I】

A 01 N	37/18	Z
A 01 N	59/00	A
A 01 N	25/10	
A 01 N	33/12	1 0 1
A 01 P	3/00	

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月10日(2013.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ある場所での微生物の防除を提供する方法であって、

a) i) ポリビニルアルコール、ポリビニルアルコールコポリマーまたはポリビニルピロリドンである水溶性または水分散性フィルム形成剤；

i i) 不活性溶剤；

i i i) ペルオキシ酸前駆体；

i v) ペルオキシゲン源；

v) 剪断薄化特性を提供するためのレオロジー調整剤；および

v i) 第四級アンモニウム化合物を含む抗菌剤

を含む成分を組み合わせることによって組成物を形成し、それによって少なくとも1つのペルオキシ酸抗菌剤を含む抗菌性液体コーティング組成物が形成される工程と；

b) 前記液体コーティング組成物の剪断薄化指数が1.5～6.0である、工程(a)において得られた前記組成物を前記場所に塗布する工程と；

c) 前記組成物を乾燥させ、それによって前記場所上にコーティングを形成する工程とを含み、

前記液体コーティング組成物の剪断薄化指数が1.5～6.0である方法。

【請求項2】

ある場所での微生物の防除を提供する方法であって、

a) 不活性溶剤および、ポリビニルアルコール、ポリビニルアルコールコポリマーまたはポリビニルピロリドンである、フィルム形成剤、ならびに第2抗菌剤としての第四級アンモニウム化合物を含む第1予混合成分の内容物を、ペルオキシ酸前駆体およびペルオキ

シゲン源を含む第2予混合成分の内容物と組み合わせて少なくとも1つのペルオキシ酸抗菌剤を含む抗菌性液体コーティング組成物を形成する工程と；

- b) 工程(a)において得られた前記組成物を前記場所に塗布する工程と；および
- c) 前記コーティング組成物を乾燥させ、それによって前記場所上にコーティングを形成する工程と

を含み、

少なくとも1つの予混合成分が、剪断薄化特性を前記コーティング組成物に提供する少なくとも1つのレオロジー剤をさらに含み、そして前記コーティング組成物の剪断薄化指数が1.5～6.0である方法。

#### 【請求項3】

- a) ポリビニルアルコール、ポリビニルアルコールコポリマー、またはポリビニルピロリドンである水溶性または水分散性フィルム形成剤；
- b) 不活性溶剤；
- c) ペルオキシ酸前駆体；
- d) 剪断薄化特性を提供するためのレオロジー調整剤；
- e) 第四級アンモニウム化合物を含む抗菌剤；および
- f) ペルオキシゲン源

を含む抗菌性組成物であって、

前記成分を組み合わせると、ペルオキシ酸が形成され；そして前記抗菌性組成物の剪断薄化指数が1.5～6.0であり、任意選択的に少なくとも1つ以上の前記成分が、前記ペルオキシ酸を形成するためのそれらの組み合わせの前に多区画システムにおいて前記その他の成分と別々にパッケージされている組成物。

#### 【請求項4】

その少なくとも1つの表面上に除去可能な抗菌性組成物のコーティングを含む物品であって、前記抗菌性組成物が、

- a) ポリビニルアルコール、ポリビニルアルコールコポリマーまたはポリビニルピロリドンである水溶性または水分散性フィルム形成剤；
- b) 不活性溶剤；
- c) ペルオキシ酸前駆体；
- d) ペルオキシゲン源；
- e) 第四級アンモニウム化合物を含む抗菌剤；および
- f) 剪断薄化特性を提供するためのレオロジー調整剤；

を含み、

前記コーティング組成物の剪断薄化指数が1.5～6.0であり、そして(a)～(f)の成分を組み合わせると、ペルオキシ酸が形成される物品。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0179

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0179】

本コーティング組成物の塗布速度は、スプレーされるべき表面にわたってスプレーガンを移動させる速度に依存して約8～15m<sup>2</sup>/分であると測定された。コーティング組成物の消費は、再び標的表面にわたってスプレーガンを移動させる速度に依存して、約30～60g/m<sup>2</sup>であった。

本発明は以下の実施の態様を含むものである。

1. ある場所での微生物の防除を提供する方法であって、
  - a) i) 水溶性もしくは水分散性フィルム形成剤；
  - ii) 不活性溶媒；
  - iii) ペルオキシ酸前駆体；

i v ) ペルオキシゲン源

v ) レオロジー剤；および

v i ) 第四級アンモニウム化合物を含む抗菌剤

を含む成分を組み合わせることによって組成物を形成して少なくとも1つのペルオキシ酸抗菌剤を含む抗菌性液体コーティング組成物を形成する工程と；

b ) 工程(a)において得られた前記組成物を前記場所に塗布する工程と；および

c ) 前記組成物を乾燥させ、それによって前記場所上にコーティングを形成する工程とを含み、

前記液体コーティング組成物の剪断薄化指数が1.5~6.0である、方法。

2 . 前記液体コーティング組成物の粘度が、10 および1秒<sup>-1</sup>の剪断速度で測定されるとき、0.5~100Pa\*sである、1に記載の方法。

3 . d ) 前記コーティングを除去する工程をさらに含む、1に記載の方法。

4 . 少なくとも1つ以上の前記成分が、前記液体コーティング組成物を形成するためのそれらの組み合わせの前に、多区画システムにおいて前記その他の成分と別々にパッケージされている、1に記載の方法。

5 . ある場所での微生物の防除を提供する方法であって、

a ) 不活性溶媒およびフィルム形成剤を含む第1予混合成分の内容物を、ペルオキシ酸前駆体およびペルオキシゲン源を含む第2予混合成分の内容物と組み合わせて少なくとも1つのペルオキシ酸抗菌剤を含む抗菌性液体コーティング組成物を形成する工程と；

b ) 工程(a)において得られた前記組成物を前記場所に塗布する工程と；および

c ) 前記コーティング組成物を乾燥させ、それによって前記場所上にコーティングを形成する工程とを含み、

少なくとも1つの予混合成分が、剪断薄化特性を前記コーティング組成物に提供する少なくとも1つのレオロジー剤をさらに含む、方法。

6 . 少なくとも1つの予混合成分が第2抗菌剤をさらに含み、前記第2抗菌剤が第四級アンモニウム化合物を含む、5に記載の方法。

7 . 前記液体コーティング組成物の剪断薄化指数が1.5~6.0である、5に記載の方法。

8 . 前記液体コーティング組成物の粘度が、10 および1秒<sup>-1</sup>の剪断速度で測定されるとき、0.5~100Pa\*sである、5に記載の方法。

9 . 前記第1および第2予混合成分が多区画システムにおいて提供され；前記第1および第2予混合成分が前記液体コーティング組成物の形成前に別々のままである、5に記載の方法。

10 . a ) 水溶性もしくは水分散性フィルム形成剤；

b ) 不活性溶媒；

c ) ペルオキシ酸前駆体；および

d ) レオロジー調整剤

を含む成分を含む抗菌性組成物であって、

前記成分を組み合わせると、ペルオキシ酸が形成され；任意選択的に少なくとも1以上の前記成分が、前記ペルオキシ酸を形成するためのそれらの組み合わせの前に多区画システムにおいて前記その他の成分と別々にパッケージされている、組成物。

11 . 汚染表面に塗布されたときに少なくとも99.9%のコロニー形成単位の減少を提供する、10に記載の組成物。

12 . 前記ペルオキシ酸前駆体が、N-アシリルアミドまたはO-アシリルエステルからなる群から選択され；ペルオキシゲン源が過酸化水素である、10に記載の組成物。

13 . その少なくとも1つの表面上の除去可能な抗菌性組成物のコーティングを含む物品であって、前記抗菌性組成物が、

a ) 水溶性もしくは水分散性フィルム形成剤；

b ) 不活性溶媒；

c ) ペルオキシ酸前駆体 ; および

d ) ペルオキシゲン源

を含み、

( a ) ~ ( d ) の成分を組み合わせると、ペルオキシ酸が形成される、物品。

14 . 食品または飲料業界において使用される装置である、13に記載の物品。